
3Dプリンタで国際交流

一般社団法人

Glocal Solutions from Classroom (GSC)

2025



なぜGSCを始めたか

世界銀行で13年間教育専門官

特にEdTech専門家として、テクノロジーを通して教育のアクセスや質の改善、雇用の促進に貢献。主にアフリカ、南アジア地域担当。

アフリカと日本の大学連携プロジェクトで日本人の可能性に気づく

テクノロジーや理系科目では英語がいまいちでも専門用語を使って理解し合い、共同研究や社会実装プロジェクトができることを体験。



なぜGSCを始めたか

日本の中高生が見たことのない世界と体験をつくるハブになり
自分の可能性を日本だけでなく世界まで広げられるようになる
グローバル、グローバル人材の育成のため
オンライン国際交流事業を開始





ビジョン

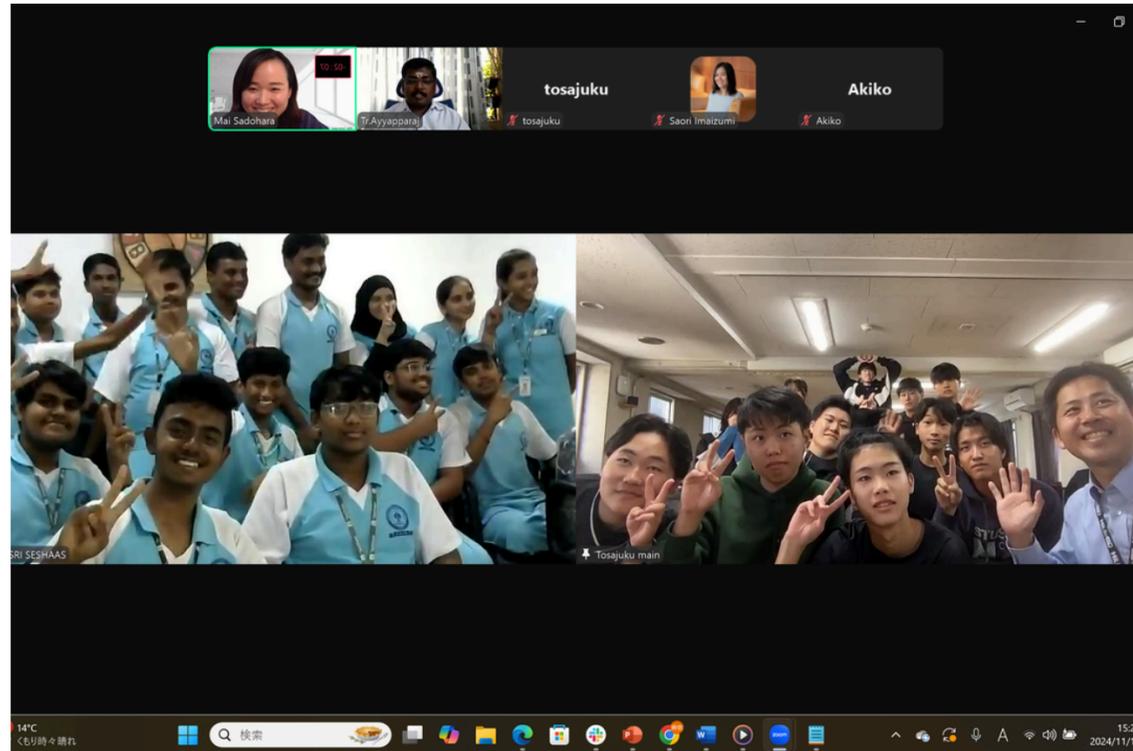
世界の仲間と共に日本中の学校
をワクワクさせる

自分、地域、世界を変えるグローバル、
グローバル人材が溢れる社会を目指します。

ミッション

生徒がワクワクする学びを提供
先生がワクワクする授業ができるサポートを提供
保護者と子供がワクワク対話できる情報を提供

交流事例



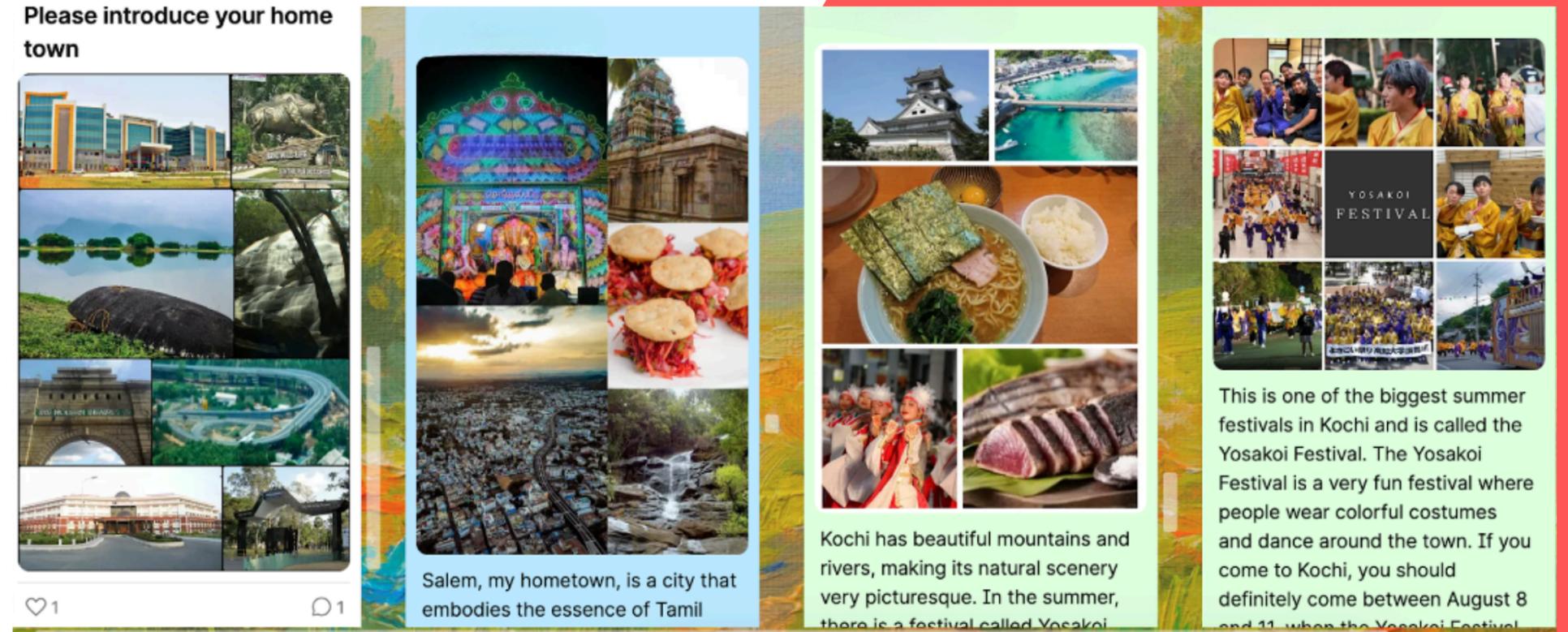
日本の学校

土佐塾中学・高校
長崎の私立中学校
京都の公立小学校

交流先の学校

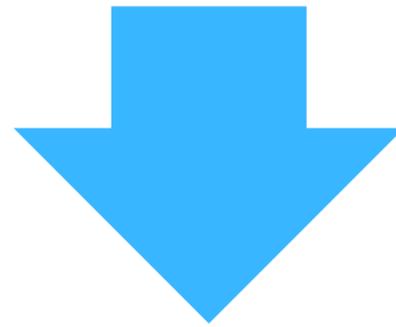
インド、スロベニア、マカオ、
韓国、フィリピン、ウクライナ、
ギリシャ、台湾

オフラインでの地域紹介交流

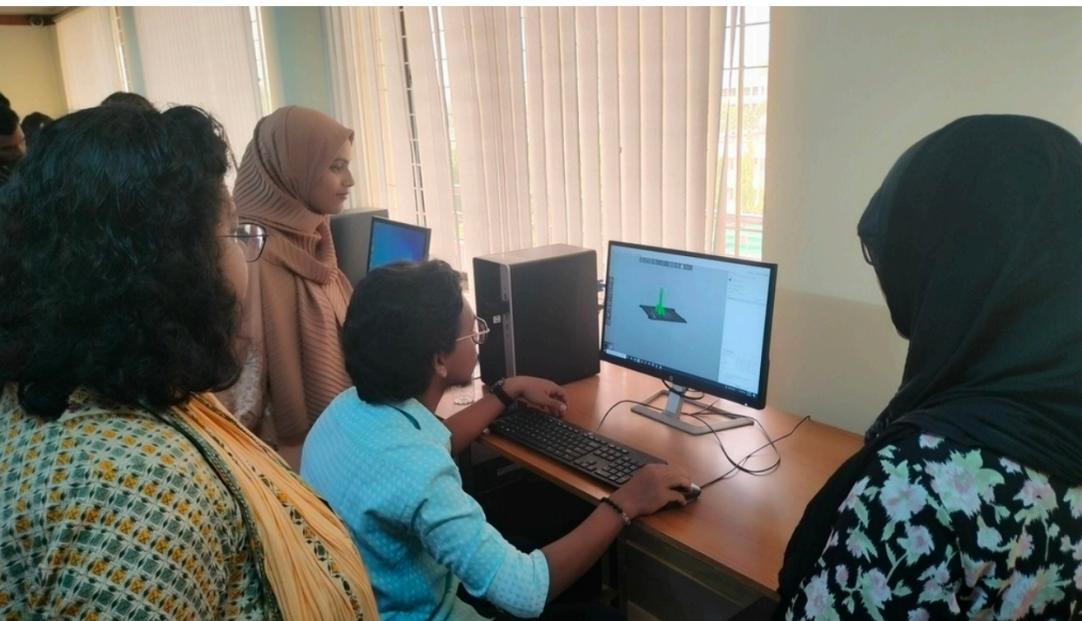


ライブ交流でお互いに質問をしあう

オンライン国際交流を経験した学校の先生とDXハイスクールの文脈で何かできないか一緒に考え、こちらでできることを色々述べたところ。。。。



3Dプリンタがあまりうまく活用できていな学校が多いことを伺い「3Dプリンタで国際交流」プログラムが生まれる。



DXハイスクール補助金で購入された 3Dプリンタの活用状況



- 授業やワークショップ、放課後の活動で活用
- 生徒が3D CADでデザインができるようになる



- 作ったものを発表する場が少ない
- 3Dプリンタがうまく活用されていない
- 文理横断の授業や課題解決型の授業に組み込んで使われていない

デジタルものづくりの機器を使うためのカリキュラム やコミュニティ作りが必要

世界銀行でバングラデシュの大学8校に2億円ずつ投資してFAB LABを作る。

機器を入れたまま使われなくなると困るため、「Maker Fest」や「MAKE-A-THON」を開催してMAKERSコミュニティを作り、大学でFab Lab運営のチャンピオンを作る。文理横断カリキュラムも提供し、10年後の今も社会課題解決や研究にFab Labが活用されている。



QC Pro
ミルクや他の液体の湿度、温度、PHレベルを計測しミルクの無駄を減らす



Happiness for All
貧しい家庭でも買える\$5のラジコン飛行機おもちゃ

Flobuddy
船で通勤する人が溺れないようにするためのリストバンド形式の浮遊具



A young innovator's tireless effort to curb the spread of coronavirus



SM Anamul Arefin, a Sher-e-Bangla Agricultural University graduate, has been working hard to manufacture reusable, plastic face shields, in a bid to prevent coronavirus infections.

"The special face shields are designed to protect frontline healthcare workers from any droplets with the virus from coughs or sneezes," said Arefin. He further said people who provide emergency services are marginally more likely to be affected by the coronavirus.

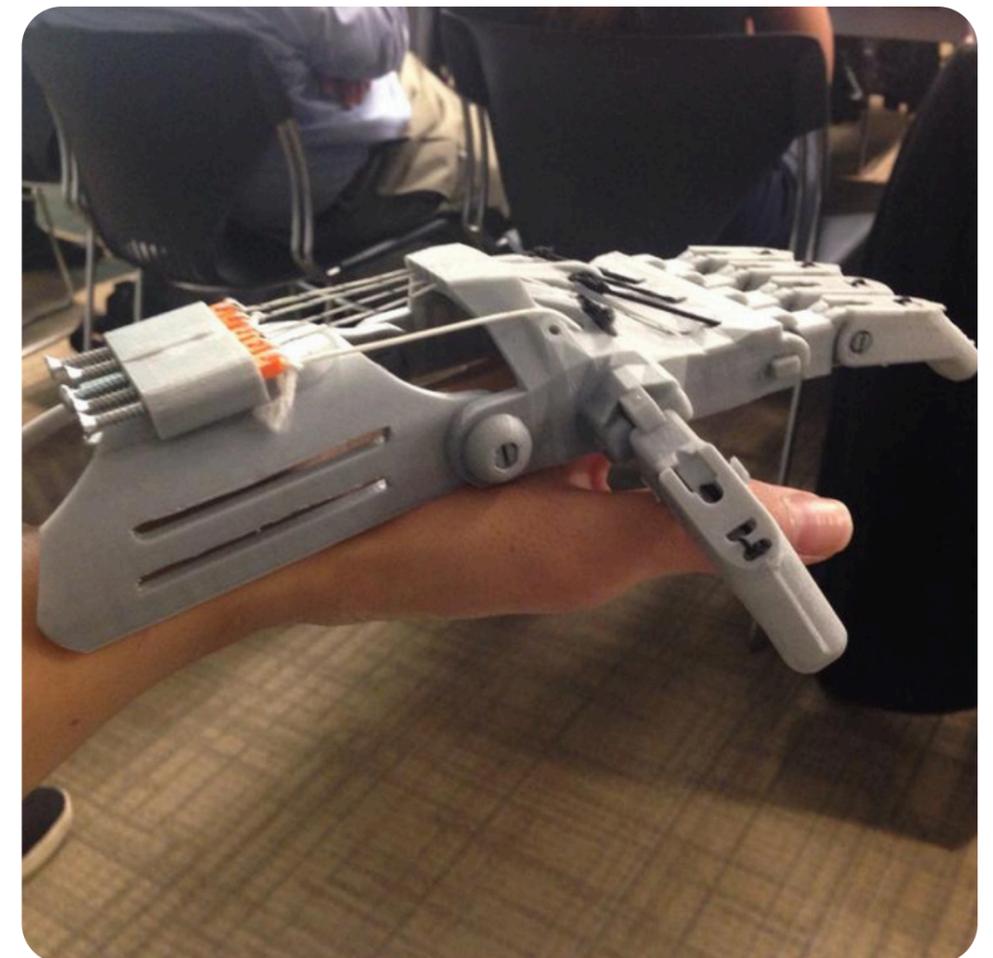
"After the use of Personal Protection Equipment (PPE), some areas between the mouth and the goggles remain uncovered, where germs are likely to enter. The face shields will help to cover those areas," said Arefin.

私たちのサービス

3Dプリンタで国際交流

海外の生徒や専門家と
デジタルものづくりで
オンライン国際交流

デジタルスキル
異文化理解
課題解決力
を磨く



私たちのサービス

3DプリンタでデジタルものづくりをしてSDGsの課題解決
+
オンライン国際交流コミュニティ



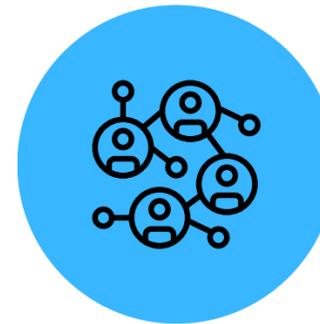
3ステップのカリキュラム

- **自己紹介**: 好きなものを3Dプリンタで作って自己紹介
- **地域紹介**: 地域を表すものを3Dプリンタで作る
- **地元の課題解決**: SDGsに基づく地元の課題を調べて課題解決になるものを3Dプリンタで作る



3Dプリンタで作るものをシェアしながら国際交流

- ファイルのシェア
- つくったものの説明動画のシェア
- 月1回のライブ交流



DISCORDによるコミュニティ

- オンラインでつながった海外の生徒や先生と24時間DISCORDでコミュニケーション可能
- 技術面やお互いを知る交流、地域課題のディスカッション、つくったものへのフィードバックなど可能



海外の**FAB LAB**や専門家とコネク

- 生徒が作ったものを海外のFab Labマネージャーに発表
- 海外のFab Labマネージャーがレクチャー
- 3Dプロトタイプが使える産業とコラボで実践的なものづくり

先生、教育委員会の方々にできること

私たちのDiscordコミュニティへのご参加

本日ご参加いただいた方への特典
生徒1名月1,000円のDiscordコミュニティへ
無料ご招待

Discord参加URL



- 参加特典（ご参加いただいた方への無料特典）
 - 海外専門家イベントや海外の学校との交流イベントご体験
 - 他の先生、海外の先生とのつながり
 - 学校や先生の課題などをシェアいただけると、私たちでできることををご提示させていただきます
 - コンサルテーション

次回イベントのお知らせ
3月20日（木）夜20-21:30

お申し込み詳細は**Discord**より

ペルーのデジタルものづくりの授業
とFab Labコミュニティ
(英語)



講師 Victor Freundt

インダストリアルデザイナー

元ペルー文部科学省、交通省

ペルーFabLabマネジャー

大学講師

一般社団法人

Glocal Solutions from Classroom (GSC)

ご質問、ご興味のある方はこちらからお願いいたします



Phone

080-7882-2841



E-mail

saori@gsfclassroom.org



Website

www.gsfclassroom.org



住所

京都府久世郡久御山町藤和田
馬場崎野 2 2 - 7

